



## 第40回鉄構塗装技術討論会 開催予告と発表テーマ募集

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

- ・日時／会場：2017年10月18日(水)～19日(木)／市ヶ谷自動車会館2階大会議室
- ・協賛(予定)：(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会  
(一社)日本鉄鋼協会 (一社)日本塗料工業会 (一社)日本橋梁建設協会  
(一社)日本防錆技術協会 (公社)腐食防食学会 日本塗装技術協会  
(一財)日本塗料検査協会

■ 本討論会は土木学会のCPDプログラムに認定の予定です。

米国のトランプ大統領の就任、英国のEU離脱など大きな変動要因が生じましたが、仏国大統領選で極右政権が阻止されるなど、世界経済に大きな影響を与える出来事が続きました。

我が国の経済は、緩やかに景気回復してきており、輸出は緩やかに回復し、鉱工業生産も回復が継続しており、今後さらに輸出の回復や公共投資の増加、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復が継続すると予想されています。

2011年に発生した東日本大震災を契機として安全・安心の確保が求められていますが、豊かな自然に恵まれている我が国は、地震、津波、火山噴火、風水害、土砂災害など、厳しい自然災害に取り巻かれています。東日本大震災や昨年の熊本地震からの復興を進めていくなか、南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの今後予想される災害に対して防災・減災に取り組むことが必要となっています。

また、我が国では高度経済成長期に整備した社会インフラが一斉に高齢化し老朽化が進んでいます。既存のインフラを利用し続けるために、今あるインフラの機能の向上、補修、補強が重要な課題となってきています。橋梁などの鋼構造物も、耐震補強とともに適切な防食対策を施し長寿命化を目指すことが不可欠です。

各種の防食法がある中で塗装は、鋼材の防錆防食技術として明治以来の長年にわたって適用されてきた信頼性を有しており重要な地位を占めています。今後、さらなる塗料・塗装技術の改善発展が望まれています。このためにも塗装関係者が集まり、技術発表と討論する場として本討論会が活用されることを期待するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。討論会の発表を次頁の要領にて募集いたします。ふるって応募いただきますようお願いいたします。また、発表の応募とともに、本討論会へ参加いただきますよう関係各位へのご連絡ともども宜しく願います。

実行委員長：守屋 進（鋼構造物塗装小委員会委員長）

# 発表テーマの募集について

## ■募集する発表テーマ

鋼構造物の塗装技術に関して、分野を限定しない広い範囲からの話題提供を歓迎いたします。文献紹介、研究ノート、経験データ（トラブル対策事例も含む）、ご意見などを各自でとりまとめてご発表ください。

## ■募集期間

平成 29 年 5 月 8 日（月） ～ 6 月 30 日（金）

## ■応募後のスケジュール

- ・原稿執筆依頼 ……平成 29 年 7 月初旬
- ・発表原稿提出締切日 ……平成 29 年 9 月 4 日（月）
- ・参加申し込み締切日 ……平成 29 年 10 月 13 日（金）
- ・討論会開催日 ……平成 29 年 10 月 18 日（水）～19 日（木）

## ■応募方法

発表をご希望の方は下記項目をご記入の上、ご応募ください。

FAX、郵送、E-mail のいずれも受け付けます。

①題 記 : 『第 40 回鉄構塗装技術討論会発表申し込み』

②発表題目 : 「……………」

※ 1 題目につき、発表 20 分+質疑応答 10 分です。

③発表概要 : 「200 字程度で概要を記載」

④発表者氏名 : 「連名の場合、発表者に○印」

⑤連絡先 : 「会社名・所属・役職・住所・電話番号・FAX 番号・E-mail」

※ 発表はパワーポイント使用に限定します。

## ■応募先

一般社団法人 日本鋼構造協会 『第 40 回鉄構塗装技術討論会』係

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル 3 階

TEL : 03-3516-2151 FAX : 03-3516-2152

E-mail : m.tashiro@jssc.or.jp 担当 : 田代

## <討論会の参加申込方法>

参加申込の方法および当日のプログラムについては詳細が決定次第、ご案内いたします。

### ○討論会の参加費用（予定）

1 名につき

- ・会員（協賛団体含む） …… 10,000 円（消費税・発表予稿集代を含む）
- ・一 般 …… 13,000 円（ “ ” ）